


受賞作品一覧

・ 大会愛称

「開け未来の扉 中国総体 2025」

広島県立高陽高等学校  2年


にい はるか
二井 陽香

■作品説明

コロナ禍で先がどうなるかわからない中、高校生が様々な制限の中で培ってきた努力を発揮し、未来を少しでも明るくしたいという思いを込めました。

・ スローガン

「輝け 君の青春 刻め 努力の軌跡」

山口県立萩商工高等学校  3年


あべ あきこ
阿部 晃子

■作品説明

全選手に向けてのメッセージとしての意味。努力は裏切らないという思いです。

・ シンボルマーク



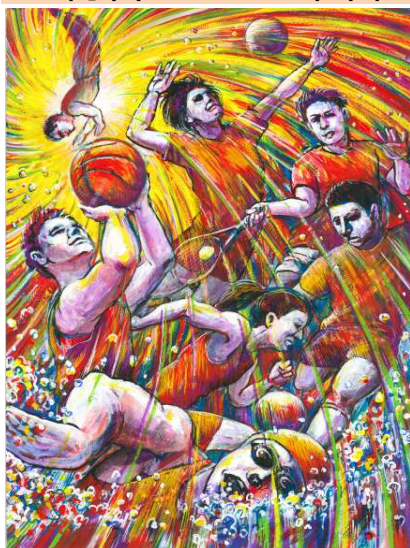
広島県立海田高等学校  1年


やなぎさわ ゆうき
柳澤 雄希

■作品説明

5つで色を変えて中国地方の5県をイメージしその5県が高体連のマークに向かって競っているときの躍動感を表現した。

・ 総合ポスター図案



サビエル高等学校  3年

にしむら
西村 あさひ

■作品説明

どのスポーツをする人も本気で取り組みますが、その中でも高校での部活動は特別です。3年間、楽しいことや辛い事がありながら、がむしゃらに練習すると思います。そんな「熱」や「勢い」「激しさ」を表現しました。

・スローガン揮毫(縦書き)



広島県立大門高等学校 

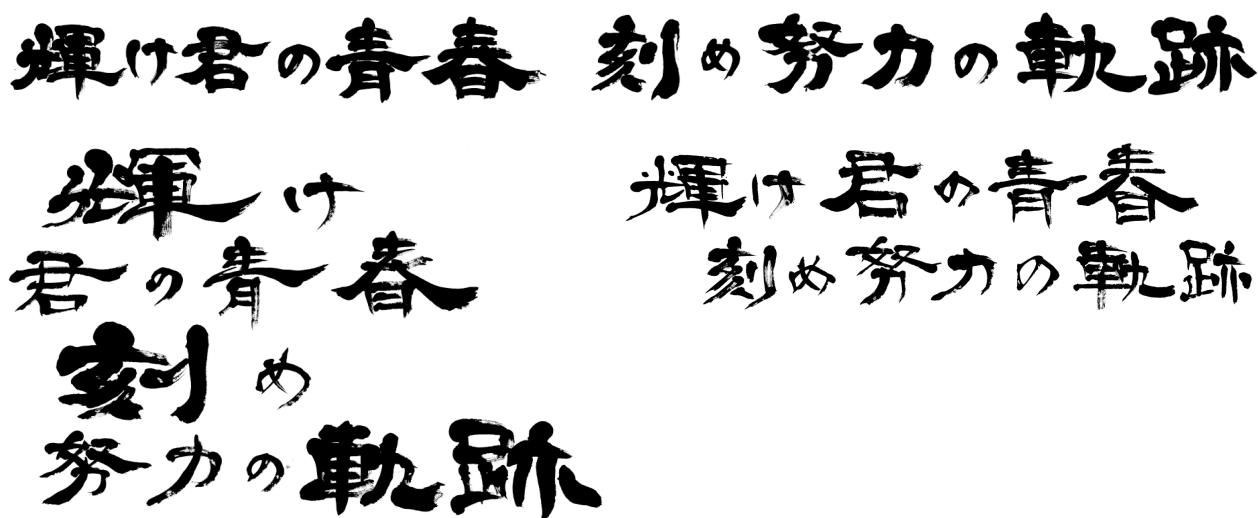
2年

ささい はるか
笹井 遥花

■作品説明

この作品は、青春、努力の美しさとカッコよさを表現するために、行書で躍動感あふれる筆運びを意識して制作しました。「輝」や「刻」を強調して文字にメリハリをつけることで、高校生の大会への意気込みを表現しました。一人ひとりが活躍して羽ばたいて欲しいという思いを込めて書いています。

・スローガン揮毫(横書き)



広島県立大門高等学校 

2年

そが ひとみ
曾我 仁美

■作品説明

この作品のポイントは「カスレ」です。墨が無くなるとカスれます。体力が無くなるとバテます。しかし、そのような困難な状況であればあるほど、じっくりと粘り強く取り組めば、成し遂げられるものがあります。大会出場の皆さんが士気を高め、最後まで粘り強く挑戦し続けて欲しいという思いを込めて制作しました。